

2015年度春学期授業評価アンケートについて  
東洋大学国際地域学部国際観光学科

国際地域学部では2015年度春学期に授業評価アンケートを実施しました。

国際地域学部では、毎年実施する授業評価アンケートの結果を教員の授業改善に向けた議論に役立ており、わかりやすい授業をすると同時に、それぞれの分野に必要な知識をしっかりと身に付けることを目指して改善に取り組んでいるところです。

2015年度春学期におけるアンケート実施科目数は、国際地域学部全体で160科目、回答者数8,403名ですが、その中で国際観光学科に関連するアンケート結果(アンケート対象履修者数4,993名、回答者数3,488名、回答率69.86%)は以下の通りでした。

1. 回答者属性等について

回答者の個人属性は表1から表3までの通りです。アンケートは、国際観光学科の教員が担当している授業であるため、回答者の一部に文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部の学生がいます。他キャンパスの学生はいません。学年の構成は、1年生、2年生、3年生の順で多く、4年生は相対的に少なくなっています。回答者の出席状況では、「一度も欠席なし」が1,715で割合にすると49.7%であり、この数字は2014年度秋学期の割合が34.3%だったことを考えると、大幅な改善が見られております。社会の中においても観光という分野は時間厳守が基本であり、遅刻・欠席を厳しく律する教育が功を奏してきております。引き続き、授業に出席することの重要性を学生には伝えていく所存です。

また、受講人数の適切さでは、「適切」という回答が最も多いものの、「多すぎる」や「やや多い」とする回答も4割程度(38.4%)みられます。この回答は、2014年度秋学期の水準(33.5%)より4.9ポイントも多くなっています。これは教員だけの努力だけで改善する項目ではなく、大学全体で問題意識を共有し、さらに全学で取り組んでいく必要がある項目であるといえます。

表1 回答者の所属学部

学部	文	経済	経営	法	社会	理工	国際	生命	ライフ	総合	食環	有効回答	無効回答
	101	95	41	30	56	0	3,155	0	0	0	0	3,478	10

表2 回答者の学年

学年	1年	2年	3年	4年	その他	有効回答	無効回答
	1,375	984	915	206	1	3,481	7

表3 回答者の出席状況

出席状況	一度も欠席なし	1~2回の欠席	3~4回の欠席	5回以上欠席	有効回答	無効回答
	1,715	1,395	292	47	3,449	39

表4 受講人数の適切さ

受講人数の適切さ	多すぎる	やや多い	適切	やや少ない	少なすぎる	有効回答	無効回答
	331	998	2,073	51	9	3,462	26

## 2. 授業についての評価

### 2.1. 授業のわかりやすさについて

2015 年度春学期の「授業のわかりやすさ」をみると（表 5 上段）、いずれの項目も全学平均を上回っており、特に国際観光学科の評価が全学平均よりも高い項目には、教員の説明、教材の有用性、投影資料の読みやすさ、教員の声の聞き取りやすさがあげられます。

また、2014 年度秋学期の「授業のわかりやすさ」（表 5 下段）の学科平均と比較すると、上回っているのは教材の有用性のみとなっています。ただ、観光の講義の特徴上、春学期は旅行業務取扱管理者試験の対策講義が多く、秋学期は実際の実務に即した講義が多いという違いがありますので、2014 年度春学期と比較した場合、すべての項目で上回っていますので、あまり深刻にとらえる必要はないと思われませんが、今後さらによりわかりやすい授業を行う努力を続ける必要があります。

表 5 授業のわかりやすさ

#### 2015 年度春学期

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数/回答率(%)					有効回答	無効回答
					1	2	3	4	5		
<b>A. 授業のわかりやすさについて</b>											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.22	3.22	3.12	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		3,473	15
					1,384	39.9%	1,554	44.7%	442		
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.40	3.35	3.30	役に立った	わりに役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	これらの教材は使わなかった	3,474	14
					1,633	47.0%	1,330	38.3%	253		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.15	3.15	3.07	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	板書はしなかった	3,479	9
					837	24.1%	999	28.7%	364		
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.43	3.36	3.30	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	パワーポイント等は使わなかった	3,484	4
					1,231	35.3%	890	25.5%	158		
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.44	3.48	3.41	聞き取りやすかった	わりに聞き取りやすかった	あまり聞き取りやすくなかった	聞き取りやすくなかった		3,486	2
					1,960	56.2%	1,175	33.7%	293		
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.27	3.28	3.18	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		3,484	4
					1,544	44.3%	1,424	40.9%	418		

#### 2014 年度秋学期

問	設問	当学科平均	当学部平均	全体平均	回答数/回答率(%)					有効回答	無効回答
					1	2	3	4	5		
<b>A. 授業のわかりやすさについて</b>											
1	先生の説明は、あなたにとってわかりやすかったですか。	3.30	3.27	3.21	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		2,456	13
					1,086	44.2%	1,090	44.4%	222		
2	使用した教科書、参考書、配布資料などの教材は役に立ちましたか。	3.35	3.32	3.29	役に立った	わりに役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった	これらの教材は使わなかった	2,452	17
					1,041	42.5%	1,095	44.7%	161		
3	黒板の板書は読みやすく書かれていましたか。	3.16	3.18	3.13	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	板書はしなかった	2,459	10
					650	26.4%	843	34.3%	268		
4	スクリーンに投影される文字や図表(パワーポイント、実物投影機、OHP等を含む)は読みやすく作成されていましたか。	3.43	3.37	3.34	見やすかった	わりに見やすかった	あまり見やすくなかった	見やすくなかった	パワーポイント等は使わなかった	2,462	7
					1,062	43.1%	803	32.6%	149		
5	先生の声は聞き取りやすかったですか。	3.51	3.50	3.45	聞き取りやすかった	わりに聞き取りやすかった	あまり聞き取りやすくなかった	聞き取りやすくなかった		2,457	12
					1,467	59.7%	807	32.8%	150		
6	総合的に見て、この授業はわかりやすかったですか。	3.35	3.30	3.25	わかりやすかった	わりにわかりやすかった	ややわかりにくかった	わかりにくかった		2,448	21
					1,179	48.2%	1,006	41.1%	210		

## 2.2. 授業運営について

授業運営については（表 6 上段）、いずれの項目も全学平均を上回っており、特に「2. 先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。」「3. 授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。」は全学平均を比較的大きく上回っています。

2014 年度秋学期の同じ項目と比較するとすべての項目において下回っています。引き続き厳格な授業運営を推進するよう努めることが重要と考えます。

表 6 授業運営  
2015 年度春学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)										有効 回答	無効 回答
					1		2		3		4		5			
<b>B. 授業運営について</b>																
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.44	3.44	3.38	そう思う 1,682 48.4%		わりにそう思う 1,658 47.7%		あまりそう思わない 118 3.4%		そう思わない 16 0.5%				3,474	14
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.35	3.38	3.28	そう思う 1,418 40.9%		わりにそう思う 1,465 42.3%		あまりそう思わない 239 6.9%		そう思わない 34 1.0%		私語がなかったので 注意の必要がない 308 8.9%		3,464	24
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.57	3.55	3.49	そう思う 2,114 61.2%		わりにそう思う 1,219 35.3%		あまりそう思わない 113 3.3%		そう思わない 11 0.3%				3,457	31
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.43	3.42	3.36	よかった 1,732 50.3%		わりによかった 1,480 43.0%		あまりよくなかった 194 5.6%		よくなかった 35 1.0%				3,441	47

## 2014 年度秋学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)										有効 回答	無効 回答
					1		2		3		4		5			
<b>B. 授業運営について</b>																
1	シラバス(講義要項)に則した内容の授業が行われていたと思いますか。	3.48	3.47	3.44	そう思う 1,301 52.9%		わりにそう思う 1,057 43.0%		あまりそう思わない 88 3.6%		そう思わない 13 0.5%				2,459	10
2	先生は私語を注意するなど、受講生が講義に集中できる環境を作っていたと思いますか。	3.45	3.41	3.33	そう思う 1,192 48.5%		わりにそう思う 859 35.0%		あまりそう思わない 141 5.7%		そう思わない 27 1.1%		私語がなかったので 注意の必要がない 238 9.7%		2,457	12
3	授業の開始時間、終了時間は守られていたと思いますか。	3.55	3.56	3.50	そう思う 1,542 62.8%		わりにそう思う 763 31.1%		あまりそう思わない 114 4.6%		そう思わない 37 1.5%				2,456	13
4	総合的に見て、この授業の運営はどうでしたか。	3.45	3.42	3.39	よかった 1,307 53.4%		わりによかった 961 39.3%		あまりよくなかった 148 6.1%		よくなかった 30 1.2%				2,446	23

### 2.3. 学習成果について

学習成果については、表 7 上段の通り学習成果についても全ての項目で全学平均を上回ることとなりました。

しかし、2014 年度秋学期（表 7 下段）と比較した場合、全項目で下回りました。ただ、これも授業の分かりやすさと同様、春学期と秋学期の講義の性格の違いがあり、2014 年度春学期と比較した場合はすべての項目で上回っております。引き続き学習成果の高い授業を行うよう努めることが重要と考えています。

表 7 学習成果  
2015 年度春学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答
					1	2	3	4	5		
<b>C. 学習成果について</b>											
1	あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。	3.21	3.21	3.17	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		3,471	17
					1,269	36.6%	1,694	48.8%	461		
2	受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。	3.41	3.40	3.31	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		3,459	29
					1,742	50.4%	1,432	41.4%	254		
3	受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。	3.25	3.28	3.22	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		3,466	22
					1,380	39.8%	1,626	46.9%	414		
4	この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。	3.21	3.21	3.16	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった		3,462	26
					1,241	35.8%	1,758	50.8%	412		

2014 年度秋学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答
					1	2	3	4	5		
<b>C. 学習成果について</b>											
1	あなたは講義中に熱心に受講したと思いますか。	3.24	3.21	3.17	そう思う	わりにそう思う	あまりそう思わない	そう思わない		2,454	15
					920	37.5%	1,225	49.9%	277		
2	受講の結果、新しい知識を得ることができましたか。	3.42	3.39	3.33	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		2,443	26
					1,217	49.8%	1,049	42.9%	155		
3	受講の結果、新しいものの見方や考え方を得ることができましたか。	3.32	3.30	3.25	できた	わりにできた	あまりできなかった	できなかった		2,453	16
					1,071	43.7%	1,123	45.8%	230		
4	この授業へのあなた自身の取り組み、この授業から得られたことなど総合的に見て、あなた自身の自己評価はどうですか。	3.23	3.20	3.17	よかった	わりによかった	あまりよくなかった	よくなかった		2,444	25
					889	36.4%	1,254	51.3%	270		

## 2.4. 授業の難易度と進度について

授業の難易度と進度については（表 8 上段）、いずれの項目でも全学平均を上回ることとなりました。

しかしながら、2014 年度秋学期（表 8 下段）と比較して、全項目で下回っています。ただ、これも同様で 2014 年度春学期と比較した場合すべての項目で上回っており、今年は例年になく資格の合格者が増えていたことから、学生の好みにあまり迎合せず、難易度が高いものにもチャレンジしていく必要があると思います。

表 8 授業の難易度と進度

### 2015 年度春学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答			
					1	2	3	4	5					
<b>D. 授業の難易度と進度について</b>														
					適切であった		わりと適切であった		あまり適切 ではなかった		適切ではなかった			
1	授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。	<b>3.26</b>	<b>3.25</b>	<b>3.16</b>	1,367	39.4%	1,687	48.6%	356	10.3%	60	1.7%	<b>3,470</b>	<b>18</b>
2	授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。	<b>3.31</b>	<b>3.31</b>	<b>3.22</b>	1,442	41.6%	1,679	48.5%	304	8.8%	39	1.1%	<b>3,464</b>	<b>24</b>
3	総合的に見て、授業の難易度と進度は適切でしたか。	<b>3.30</b>	<b>3.29</b>	<b>3.19</b>	1,416	40.8%	1,706	49.2%	308	8.9%	40	1.2%	<b>3,470</b>	<b>18</b>

### 2014 年度秋学期

問	設問	当学科 平均	当学部 平均	全体 平均	回答数/回答率(%)					有効 回答	無効 回答			
					1	2	3	4	5					
<b>D. 授業の難易度と進度について</b>														
					適切であった		わりと適切であった		あまり適切 ではなかった		適切ではなかった			
1	授業の難易度はあなたにとって適切でしたか。	<b>3.32</b>	<b>3.28</b>	<b>3.21</b>	1,028	42.0%	1,190	48.7%	202	8.3%	26	1.1%	<b>2,446</b>	<b>23</b>
2	授業の進み方のペースは、あなたにとって適切でしたか。	<b>3.37</b>	<b>3.33</b>	<b>3.26</b>	1,122	45.9%	1,136	46.5%	159	6.5%	26	1.1%	<b>2,443</b>	<b>26</b>
3	総合的に見て、授業の難易度と進度は適切でしたか。	<b>3.35</b>	<b>3.32</b>	<b>3.25</b>	1,082	44.3%	1,162	47.6%	175	7.2%	24	1.0%	<b>2,443</b>	<b>26</b>

## 3. 総評

2015 年度春学期は、授業のわかりやすさ、授業運営、学習成果、授業の難易度と進度の全ての項目について、国際観光学科の平均は全学平均を上回っています。

特に観光は資格科目も多く、学生の希望を聞きすぎると甘くなってしまい、資格の取得状況にも影響が出ます。学生は楽しんで単位をとりたいと思う者も多く、その大きな声に流されることなく、黙って一生懸命頑張っている学生に対しても教員は意識を向ける必要があるように思います。学生から批判されることを恐れ、迎合して無難な教育を展開するよりも、厳格に伝えるべきことを伝える、それこそが、東洋大学国際観光学科がさらなる飛躍を実現する道のように思えてなりません。